「元気が一番」塾　2007.7.21

今月のテーマ　【夏休みにしておきたいこと】　【私の悩みを聞いて・・・】

仲島　正教

【夏休みにしておきたいこと】

「夏休みには、２学期の準備、教材研究等を時間をかけてゆっくり考えたい」と思うけど、なかなかできないもの。そりゃ、する方がいいけど、出来なくてもかまわない。でも最低これだけはやってほしいなあというのが、以下のことです。

１．先生もしっかり遊んでリフレッシュ！

先生も楽しむことが大事です。そんな楽しさの充電が２学期の活力になります。いろんな楽しい体験をして「あー楽しかったなあ、夏休み」と言えるように・・。国内旅行、海外旅行、自転車旅行、キャンプ、ラフティング、ダイビング・・・。　さあ、遊べ！遊べ！遊べ！

２．クラスの子には、残暑見舞い（暑中見舞い）のハガキを書いてやりましょう。

できれば、夏休みの中盤を過ぎてから出すか、後半に出す方がいい。コメントは必ず自筆で！
はがきは、塗り絵になっていたり、パズルになっていたり、クイズになっていたりすると
おもしろい。始業式に持って来てもらうのもいいかも・・・。

３．一番しんどい子の家には、休み中に一度は家庭訪問をしてやりましょう。

「近くを通ったから、ちょっと顔を見たいなあと思ったんだ」という「５分間家庭訪問」
２回目行くと「また来たん？何しに来たん？」「おまえの顔見るのが先生うれしいんや」
これだけで、２学期の始業式は元気に登校してくる。

４．夏休み中に一回ぐらいは、自分でお金を出して興味のある研修に行きましょう。

普段なら行けない研修に夏休みを利用して行くといい。教育雑誌の研修会案内によく目を通す先生は◎、そんなものを見たことない先生は×ですよ。自腹を切ることは大事なこと。
（それから「本も読もう！」　偉い人はすぐ聞きます「夏休みどんな本を読みましたか？」って）

【私の悩みを聞いて・・・】

授業って、学級って、子ども理解って、保護者対応って・・・・そう簡単にはうまくいかないものです。教師の仕事は、悩みだらけ。でもそれが普通なのですよ。ただね、それを自分の中に閉じこめておくか、誰かに聞いてもらうかによって、高い壁が、扉にもなるのです。

☆

☆

☆

「目の前にあるのは、壁ではなくチャンスだ。そしてその壁はやがて扉にもなるんだ」

※８月１８日（土）元気が一番塾「夏季セミナー」　兵庫県民会館　10:00～17:00
ゲスト講師　曲里由喜子先生、大路　亨先生　参加費 3000 円　<u>申込みが必要です</u>